

学 校 名 大橋学園高等学校 普通科 1年

1. 公務員、教育委員会について

地方公務員は、住民の意見を汲み取り、暮らしやすい生活環境を作る仕事をしています。私がインターンシップをさせていただいたキャリア教育班は、高校入試や就職、進学に関わる業務を担っています。

2. 関係機関及び県庁内でのインタビュー

おしごと広場みえでは、相談から就職までをワンストップサービスで支援しています。カウンセリングで大切なスキルは人が持つ力を信じる事であり、どんな人でも強みや強い思いがあるとお伺いしました。若者就業サポートステーション・みえでは、「相談に来る方の思いが叶うように」という思いで支援をされていました。就職をしていくときにやりがいを感じ、就職後に元気に働き、連絡がなくなっても、ふと思い出した時に達成感を感じるとお伺いしました。三重県国際交流財団では、三重県においてここ 10 年で外国人の住民が 1.7 倍に増え、日本語指導が必要な外国人の割合は全国 2 位と高い水準であると伺いました。お話を伺った職員の方は、小さい頃から英語が好きで、「世界と日本の架け橋」について英語でスピーチした経験が今に繋がっているそうです。業務を行う際は、外国籍の方の声を丁寧に聴き、何に困っているかを正確に把握することが大切だとお伺いしました。

県教育委員会教育総務課では「調整力」、教育財務課では「説明能力」が必要とされ、半年以上前から予定を調整していると話されていました。また、県土整備部では、過疎地域への移住の取り組みや、地域住民の声を活かす「コミュニケーション能力」の大切さをお伺いしました。



3. 実習で感じたこと

高校教育課キャリア教育班の未来へつなぐキャリア教育推進事業の説明では、三重県の子会社を就職先の選択肢に多く取り入れ、幅広い視野を持つことが大切だと感じました。県庁見学では、想像以上に多くの課が協力し、寄り添った話し合いをして円滑に進めていました。インタビューでは、半年以上前からスケジュールを組む「把握能力」の大切さに驚きました。関係機関訪問では、氷河期世代の方にも目を向け、広い視点で支援を行っていることが分かりました。おしごと広場みえでの「人が持つ力を信じる事」「強い思いがある」という言葉に感動し、信じることも一つの人助けになると学びました。三重県国際交流財団では、外国の方の具体的な現状を学び、小さい頃の経験が将来の仕事の選択肢を決める材料になると感じました。県庁内業務の見学やインタビューで、今回お世話になった方々が共通して必要とおっしゃっていたスキルは「コミュニケーション能力」と「聴く力」でした。この二つはインタビューを行った皆さんが共通してお話されていて、私もこのスキルをこれからも磨いていきたいです。

